

令和5年度事業報告

第1 重点事業総括

令和5年度は、警備員に対する教育事業及び警備業務適正化事業を重点に推進した。教育事業として、8月29日（火）京都経済センターにおいて令和5年度教育管理者研修会を開催し、会員企業の教育管理者ら103人（78社）が参加した。

研修会の第1部では、警察本部生活安全企画課伊東満氏が『適正な警備業務の実施に向けて』と題して講演し、警備員による犯罪の発生状況や警備業者に対する行政処分件数を示しながら、「立入検査等で法令違反はしっかりと確認していくが、警備業者各々の自浄能力によって法令違反等がないか、確認してもらいたい。」と、法令遵守の徹底を求めた。



第2部では、フリーアナウンサーの植月百枝氏から『コミュニケーション力を磨く～部下の心をつかむ話し方・きき方』と題し、演習（口の運動・早口言葉等）を交えて部下と接する際の注意点等を学んだ。

また、10月24日（火）には、会員44社、非会員4社、88人が参加して経営者研修会を開催し、（一社）全国警備業協会会長の中山泰男氏による「警備業の未来へ向けて」と題する講演を受けた。年間を通じては、特別講習と事前講習をそれぞれ6回開催し、多くの検定合格警備員を輩出したほか、指導教育責任者の新規及び追加取得講習4回、機械警備業務管理者講習1回などを実施した。

第2 公益事業

1 警備員等に対する教育事業

(1) 特別講習

年間事業計画どおり、計6回開催した。

本講習合格率は、62.2%（前年度68.3%）だった。

種別	区分	回数	本講習			再講習		
			受講者	合格者	合格率	受講者	合格者	合格率
施設警備業務2級		1	56	25	44.6%	4	2	50%
交通誘導警備業務1級		1	55	32	58.2%	-	-	-
交通誘導警備業務2級		2	130	75	57.7%	9	4	44.4%
雑踏警備業務2級		1	68	53	77.9%	-	-	-
貴重品運搬警備業務2級		1	38	31	81.6%	-	-	-
合計		6	347	216	62.2%	13	6	46.2%

(2) 警備員指導教育責任者等講習

京都府公安委員会から委託を受けて、1号、2号、3号及び4号を各1回開催した。

新規取得講習の合格率は、71.4%（前年度は1号・2号・3号実施で71.1%）だった。

ア 警備員指導教育責任者講習

種 別 \ 区 分	回 数	新規取得講習			追加取得講習		
		受講者	合格者	合格率	受講者	合格者	合格率
1号警備業務	1	24	21	87.5%	13	13	100%
2号警備業務	1	28	17	60.7%	6	6	100%
3号警備業務	1	9	6	66.6%	-	-	-
4号警備業務	1	2	1	50.0%	1	1	100%
合 計	4	63	45	71.4%	20	20	100%

イ 機械警備業務管理者講習

回数	受講者	合格者	合格率
1	2	2	100%

(3) 現任警備員教育

基本教育4時間、業務別教育6時間及び基本+業務別計8時間、業務別2時間など、会員からの要望に柔軟に対応した現任警備員教育を実施した。

(4) 普通救命講習

1月17日(水)、18日(木)の2日間、京都経済センターにおいて、京都市消防局下京消防署の協力を得て、普通救命講習を開催し、心肺蘇生訓練等を実施、受講した29人に対して、「普通救命講習修了証」が交付された。

2 警備業務適正化事業

(1) 教育管理者研修会

第1の重点事業総括で記載のとおり、8月29日(火)京都経済センターにおいて令和5年度教育管理者研修会を開催し、会員企業の教育管理者ら103人(78社)が参加した。

(2) 経営基盤強化等

ア 経営者研修会

第1の重点事業総括で記載のとおり、10月24日(火)京都経済センターにおいて、会員44社、非会員4社、88人が参加して経営者研修会を開催した。

イ 警備員等に対する表彰

(ア) 優良警備員等表彰

5月31日(水)優良警備員等表彰式を行い、警備業協会運営功労者1人、永年勤続警備員(20年)15人、永年勤続警備員(10年)22人、優良警備員(勤務成績優良)29人、優良警備員(模範警備員)5人、優良警備員(人命救助、犯罪検挙等)6人をそれぞれ表彰し士気の高揚を図った。



(イ) 永年勤続警備員等表彰

1月10日(水)永年勤続警備員等表彰式を行い、京都府警察本部長・(一社)京都府警備業

協会会長連名による表彰が3人（警備業功労1人、警備業教育関係功労2人）に授与され、続いて永年勤続警備員（20年）17人、永年勤続警備員（10年）19人、優良警備員（模範警備員）6人、優良警備員（人命救助）3人を表彰し士気の高揚を図った。

（ウ） 労災事故防止活動に対する表彰

10月24日（火）第22回警備業安全衛生大会において、労災事故防止論文14点、ポスター16点、標語783点の合計813点の応募作品の中から、各部門の優秀作品作成者8人と、同企画に熱心に取り組んだ6事業所に対し表彰を行った。

ウ 警備業経営講座

機関誌みらいきょうとの「警備業経営講座」コーナーにおいて、社会保険労務士による障害者の法定雇用率引上げ、マイナカード「スマホ搭載」開始、増える「ビジネスケアラー」、中途採用は即戦力重視等、業務環境の向上に資する記事を掲載した。

エ 「警備の日」広報活動

11月1日（水）午前10時30分から京都市東山区・三条京阪駅地下中央改札口付近にて、「警備の日」広報活動を実施した。

本年度は全国警備業協会マスコットキャラクター「ガードくん・ガドワンくん」の着ぐるみを先頭に、東山警察署の協力を得て、広報委員会・青年部会が中心となってノベルティグッズを配布した。

また、会員各社は、10月26日から11月1日までの1週間、「警備の日広報用マグネットシート」を車両に掲出して業務を行い、警備業をアピールした。



(3) 暴力団等反社会的勢力排除対策

ア 暴力団等反社会的勢力排除対策協議会

6月21日（水）ホテル日航プリンセス京都において、「暴力団等反社会的勢力排除対策協議会」を開催し、警察本部担当補佐から「最近の暴力団情勢等について」講演をいただき、その講演内容は、機関誌みらいきょうと（第67号）に掲載した。

イ 暴力・違法銃器追放京都府民大会

11月21日（火）京都テルサにおいて開催された、「令和5年度みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会」に、宇多会長のほか24社30人が参加し、スーパーホテルお客様相談室室長・三輪康子氏による「歌舞伎町のジャンヌ・ダルクが語るクレーム対応の極意」などの講演を受講した。

ウ 不当要求防止責任者講習

11月13日（月）京都経済センターにおいて、第15回不当要求防止責任者選任時講習を開催し、会員企業の担当者54人が受講した。

3 災害支援活動事業

(1) 協定に基づく名簿の作成と報告

京都府及び京都府警察本部と締結している「災害時における交通誘導業務及び警戒業務等の支援に関する協定」及び「同細目協定」に基づき、災害支援活動警備業者名簿を作成し、災害時に

おける出動可能警備員数等を京都府知事及び京都府警察本部長に報告した。

(2) 京都府総合防災訓練への参加

9月3日(日) 亀岡市の保津川水辺公園をメイン会場に、令和5年度京都府総合防災訓練が実施され、当協会を代表して、地元の株式会社暁から警備員2名が参加して、土砂崩れによる道路啓開現場における車両通行規制及び緊急車両の誘導業務を的確に実施した。



4 労働災害防止活動事業

(1) 京都ゼロ災3か月運動

京都労働局が主唱し、安全・健康・快適職場を目指して、危険ゼロの取組による災害ゼロ・健康確保を目的とする京都ゼロ災3か月運動に多くの会員企業が参加し、労働災害ゼロの実現に向けて取り組んだ。

(2) 警備業安全衛生大会

10月24日(火) 京都経済センター6階会議室において、第22回警備業安全衛生大会を開催し、会員44社84人が参加した。労災事故防止ポスター等優秀作品作成者や事業所に対する表彰の後、協会業務委員会委員長である、株式会社コトナ代表取締役社長の大島伸二氏が大会宣言を読み上げ、出席者の拍手によって採択された。

第3 共益事業

1 懇親会の開催

5月31日(水) 定時総会後の懇親会には会員等100人が参加したほか、賀詞交歓会には151人が参加して親睦を深めた。

2 ゴルフコンペの開催

5月16日(火)に芦屋カンツリー倶楽部、11月9日(木)に日清都カントリークラブにおいて、総務委員会主催の第19回、第20回みらいきょうと会ゴルフコンペを開催し、延べ70人のプレーヤーが腕を競い、親睦を深めた。



第4 役員・委員会等の活動状況

1 理事会

定款に基づく理事会を4回開催するとともに、臨時理事会を2回開催した。

2 専門委員会

(1) 総務

令和5年度の年間業務計画を策定した。

(2) 広報

9月7日(木) 広報委員会を開催し、警備の日における取組について検討し、11月1日(水) 京都市東山区・三条京阪駅地下中央改札口付近にて、「警備の日」広報活動を実施した。

(3) 業務

7月17日(月)、熱中症予防対策啓発活動「令和5年STOP!熱中症クールワークキャンペーン

ン」を実施し、河原町通、四条通、御池通を巡回し、リーフレットと冷却剤を配布し激励した。

(4) 青年部会

11月26日（日）午前10時から午後4時まで、梅小路公園七条入口広場において開催された「第7回京都市消防団フェスタ」に参加した。

出店した「たからさがし」のブースでは、携帯用金属探知機を使って「宝物」を探し当てた子供にはお菓子を、保護者には「一般社団法人京都府警備業協会」と印刷したリストバンド（反射材）を渡して保護者等に警備業への理解と協力を呼び掛けた。

